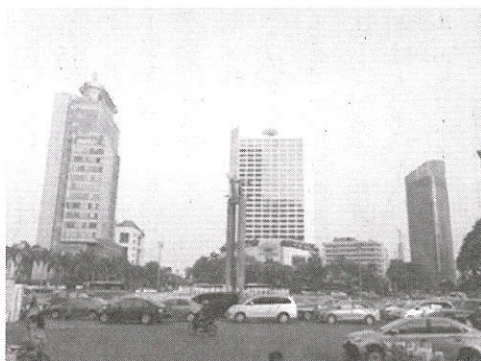




5月8日から10日まで、3日間という短い期間で、インドネシアのジャカルタへ行った。成田から約7時間のフライト、時差は2時間。

ジャカルタの西北にある空港に着くと、まず到着ビザを取得する。US 25ドル。入国審査、荷物受取になるが、問題はこれから！ガイドブックによれば市内中心部へは30～50分ほどと書かれているが、いったん渋滞に巻き込まれると、2時間以上かかってしまうらしい。

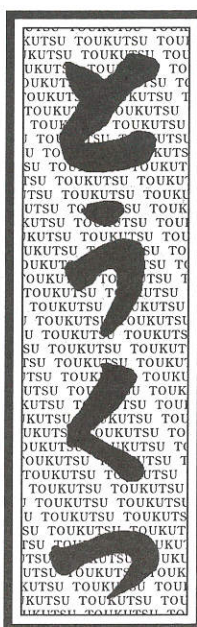
高速道路を市内に向かうが、車が多くそのうち渋滞。トヨタ、ホンダ、日産といった日本車に交じり、ヒュンダイも多い。道沿いにはショッピングセンターも見られ、市内の入口といったロケーションのSCには、ユニクロオープンの宣伝も！2013年に一号店を出店し、現在4店舗。GUも併設されている。

市内の交通はバスに限られ、地下鉄、モノレールといった交通機関はこれから。月曜から土曜まで毎日渋滞、日曜日は多少緩和されるが、運が悪いと空港・市内中心部までの35kmに3時間もかかってしまう。

イオンはジャカルタ郊外に3つの大型SCを計画しており、2014年度下期に一号店、

栗原 茂

ジャカルタ ショートステイ



一般社団法人
東靴協会

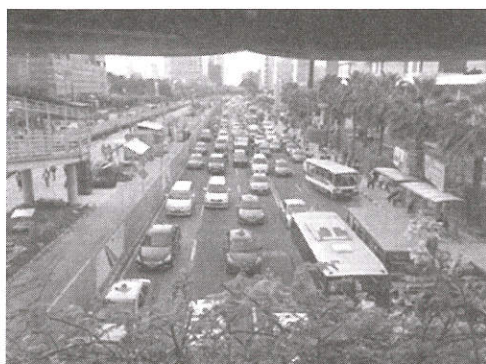
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656

(6月号)

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

2015年度にも総賃貸面積91,000㎡というSCがオープンする。地図で見ると、かなり中心部から離れており、成功する確率は高そうである。

今回の宿「プールマンジャカルタ・インドネシア」に着く。道路の絶対量が限られ、どうしても渋滞してしまうようだ。やはり空港から2時間！以前はホテル・ニコ・ジャカルタだったが、現在はフランスのアカーホテルズの系列に変わっている。



インドネシアの人口は2億4千万人。首都ジャカルタの人口は854万人。人口の87%がイ



スラム教、11%がキリスト教徒である。1600年ごろにオランダの植民地となり、1949年に独立、初代大統領はスカルノ氏で、その第3夫人がデヴィ夫人である。通貨はルピアで、1円＝RP115。両替は成田空港では1円＝86.2ルピア、ジャカルタの銀行でクレジットカードのキャッシングを使うと1円＝112.2ルピアで、なんと30%も得であった。国内での両替は避けるべきという結論である。

翌朝、向かいのSCの従業員出入口横のスターバックスに入る。カプチーノが320円。出勤の女性は主にサンダル、それもクロックスのバックバンドタイプが多い。ヒールよりフラットタイプが多く見られる。



プールマンホテルの向かいにはプーラザ・インドネシアSC。1Fはレイ・ヴィトン、グッチ、シャネルなどのブティック街で、靴ではテストーニ、バリー、クリスチャン・ルブタン、ジミー・チュウ、サルバトーレ・フェラガモ、スチューアート・ワイツマン。2Fはザラ、マークス&スペンサー、ベルシエカ、マンゴとヨーロッパ勢が入り、靴ではアルド、カンペール、チャールズ&キース、ナイン・ウエスト。4Fにはスポーツブランドが並んでいる。予想していたよりグローバルブランドが多く、その出店のスピードには驚かされるばかりである。

1990年のSC開業時にはそごうが出店していたらしいが、2006年にスーパーマーケット部門だけ残り、撤退している。

館内にいるのは、いかにもお金持ちといった雰囲気のマダムで、きちんとしたワンピース、スーツを着、ヒールのパンプス、サンダルを履いている。

プラザインドネシアの向かいに、グラインドインドネシアSCがある。ここには西武百貨店が出店しているが、西武そごうの資本は入っていない。イーストモール、ウエストモールと分かれているが、上層階では二つの建物のようにつながっている。

H&M、フォーエバー21、ネクス、トップショップ、バナナリパブリックが入り、靴ではチャールズ&キース、クラークス、クロックス、ドクターマーティン、ナイン・ウエストが出店している。

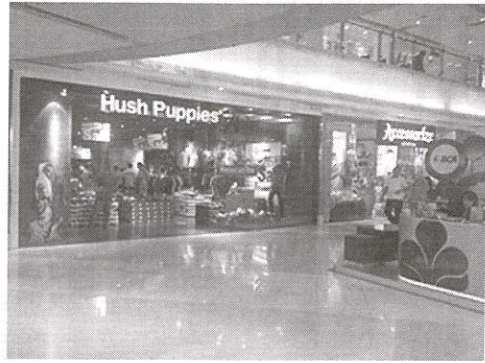
西武百貨店はまあまあの数だが、決して客が多いとは言



えない。婦人靴売場は取引先単位で売場が分かれ、本当の直営といった部分は少なそうである。

最後におみやげものを探しに「サリナ・デパート」へ。ホテルから通りを北へ10分ほど歩いた場所、今までの2つのSCと比べるとかなり古びた印象を受ける。1Fのグラウンドフロアの婦人靴売場は、取引先毎の売場である。4Fはおみやげ品売場で、インドネシアらしい商品が売られている。

ジャカルタの靴の価格だが、レイスのフラットシューズが559から、パンプスでは1,339という価格がついていた。コンバースのオールスターは559、ナイキのバスケットシューズが1,699、クラークスのデザートシューズが1,799。



インドネシアは以前からコンバースの主力工場があり、スニーカーのグローバルブランドの中国離れの影響もあり、ベトナムと共にスニーカーの生産基地として注目を浴びている。また、ジャラン・スリウアヤ社はこの工場のオーナー子息がイギリスで修業した経験を活かし、高品質のグッドイヤー製法のドレスシューズを生産している。

わずか3日間の滞在だったが、インドネシアの人たちの明るい笑顔が印象に残った旅であった。

業界情報

カジュアル化への流れ

ここ数年続いていたいわゆる「定番商品」が売れ筋から外れ、トレンドが急速に変わり始めている。

レイスでいえば、この春の婦人雑誌はどれも「フラットシューズ」の特集を組み、また昨年来からのニューバランスのレイスサイズの完売、ナイキレイススニーカーの前年比3倍という実績が示すように、レイススニーカーが大ヒットしている。前年の秋冬商戦を振り返っても、い

ゆるブーツより、UGG(アグ)のシープスキンブーツが好評で、アグは直営店と百貨店中心の店舗戦略に切り替えたところ。

メンズでもこれといったヒット商品がない紳士靴に対し、スニーカーは好調で、レイス同様、ニューバランスのアメリカ、イギリスモデルのブーム、ナイキの復活へとつながっている。

残念ながら、「靴業界」は靴を扱いながら、上記の流れに乗ることができなかった。

フラットシューズから見ると、アパレルのルックが「トリーパーチ」「レペット」の2ブランドを日本国内で取扱、トリーパーチは前部に大きな金具のついたデザインが売れ筋に、レペットはひも結びのあるバレーナシューズが大ヒットしている。いずれも2万円台以上である。ナイキ、ニューバランスなどのスポーツシューズは販売時期の6か月前のオーダーが基本であり、売れ筋情報が流れた後での扱いは、基本的に難しい。

UGGを扱うのは「デッカーズジャパン」で、デッカーズ、サンダル、サヌークを扱っている。アグに関しては、今秋冬からカジュアルスポーツチェーンへの供給も細るようである。いずれ

も、靴業界からでなく、アパレル、外資系から出たヒット商品である。

ニューバランスブームのきっかけは、人気女性モデルのプロダクション雑誌などに、おしゃれなアイテムとして取り上げられるようになったことである。来春用の展示会でもナイキはレイスモデルを拡大しており、靴業界以上にアパレル業界ではスニーカーが注目されている。

今問われているのは、靴業界の前年の売れ筋を基本とした発注を繰り返す体質であり、トレンドが大きく変わった時に、変化に対応できない体質になっていることである。靴業界に対し、アパレルはトレンドを見極め、常に仕掛けるという体質を持っている。

このような時には大切なのは、靴業界だけでなく、自店と同じ客層のアパレル、セレクト店を見て回ることであり、売場や取引先から、また他業界からの情報をつかむことである。

靴専門店に行っても欲しい靴、スニーカーがないというレッテルを貼られないように、今までの常識から脱する気概を持ち、商品構成に反映させてほしい。

消費増税後の
売り上げ

消費増税から2カ月が経過しましたが、皆さまの店舗の影響は如何でしょうか。

大手三社の5月末の速報が
出ましたのでお知らせいたしま
す。(表1)

○チヨダ

増税の影響と季節商品の動きが鈍く客数が減ったが、客単価は上昇している。スニーカーは堅調に推移したがサンダルが不振。今後「涼」をテーマに品揃え、店舗演出など連動させ提案型販売強化をしてゆく。

○ABCマート

5月は土曜日が1日多く優位な状況もあつたが、GWも全国的に好天に恵まれ好調に推移。スポーツシューズやキッズシューズが好調。

○ジューフット

4月は増税の影響を受けて苦戦したが、5月は全国的に晴天の日が多く、夏シーズントレンドのデッキシューズ等が好調に推移したが、紳士ドレスシューズは低迷し、既存店比3.4%減となった。

○他の業界

アパレル、メガネ、スポーツの他の業界の既存店売上の前年比の推移を参考にまとめてみた。
(表2)

專門店既存店 売上前年比

業種	会社名	2月	3月	4月	5月
靴	ABCマート	11.3	23.9	2.6	10.4
	デヨダ	17.3	15.0	-8.4	-3.4
	Gフット	11.2	18.5	-9.4	-3.4
	靴平均	13.3	19.1	-5.1	1.1
バッグ	東京デリカ	-1.5	18.3	1.9	4.8
アパレル	ユニクロ	0.8	0.6	3.3	4.1
	良品計画	3.1	22.2	-2.3	1.6
	ユナイテッドアローズ	7.7	12.3	-3.4	3.8
	ポイント	-4.5	-0.6	-4.1	4.1
	トリニティアーツ	-4.9	5.4	0.5	1.5
	ハニーズ	-3.9	-7.9	-10.1	-7.7
	パレモ	-12.7	-8.0	-6.8	-9.9
	タビオ	-2.0	4.0	8.1	5.3
	マックハウス	10.5	-4.5	-6.7	-1.3
	シーズメン	-16.7	2.5	1.4	11.6
	コックス	2.7	2.0	-0.6	4.0
	タカキュー	-3.1	9.9	0.8	3.8
	AOKI	-2.0	17.3	-14.9	-4.9
	青山商事	-2.4	12.0	-14.2	0.8
	アパレル平均	-2.0	4.8	-3.5	1.2
	ワークマン	14.1	21.8	-1.6	1.9
メガネ	ジェイアイエヌ(ジンス)	-25.1	-1.9	-28.4	-23.6
スポーツ	アルペン	-4.5	9.9	-10.2	-4.6
	ゼビオ	-1.8	10.8	-7.4	-1.3
	ヒマラヤ	-1.4	10.7	-7.0	3.6
	スポーツ平均	-2.6	10.5	-8.2	-0.8
	総平均	-0.34	8.44	-5.08	0.08

(5月は未確認)

大手三社売り上げ推移

社名	／月別		3月	4月	5月
チヨダ	既存店	売上比(%)	15.0	-8.3	-3.4
		客数(%)	6.3	-10.6	-8.1
		客単価(%)	8.1	2.6	5.0
	全店	売上比(%)	16.1	-8.0	-3.2
		客数(%)	7.2	-10.5	-8.0
		客単価(%)	8.2	2.8	5.2
		店舗数	1106	1108	1103
ＡＢＣマート	既存店	売上比(%)	23.9	2.6	10.4
		客数(%)	16.3	-2.6	4.9
		客単価(%)	6.5	5.4	5.2
	全店	売上比(%)	30.6	6.3	14.4
		客数(%)	22.5	0.9	9.0
		客単価(%)	6.6	5.3	5.0
		店舗数		767	769
Ｇフット	既存店	売上比(%)	30.2	-4.5	-3.4
	全店	売上比(%)	18.5	-9.4	5.6
		店舗数	753	766	771

海外売上好調の
スポーツ3社

アシックス、ミズノ、デサントの2014年3月期決算は、各社とも国内市場の堅調と、海外市場での売り上げを大幅に伸ばし、売上高、利益がこれまでの実績を大きく上回った。それに伴い海外売上比率が3社とも大幅にアップし、中期計画においても、さらに海外比率が上昇する見込みだ。アシックスは国内売上高6.7%増と堅調に伸ばし、海外売り上げは37.9%増と大幅な伸びで、円安による為替の影響を除いても12.4%増になる。前期までは円高のため海外現地通貨ベースで大幅な売り上げ増があつても円換算では大幅に縮小したことを思うと逆転した状態だ。このため、アシックスの海外売上比率は2013年3月期の63.9%から69.5%と70%台に迫っており、今後ともさらに高まる見通しだ。

ミズノも国内売上高3%増、海外15%増と海外で大幅に伸ばしており、海外比率は29%から32%にアップし、3年後には39%になると見込んでいる。

デサントも国内売上高3%増、海外46%増と主力市場の韓国で大きく伸ばしている。

●●●参加者募集●●●

☆夏期講座
本年度で62回を数える夏期講座は、左記の通り工場見学を企画しました。是非ご参加ください。

開催日・平成26年8月6日(水)
テーマ・「株コロンブス松戸」

FACTORY見学靴磨き研修
場所・クロンブス松戸工場

松戸市上本郷569-1
電話 047136713221

集合・JR常磐線「北松戸駅」
西口・午後1時30分

解 散・午後4時30分
現地解散〔予定〕

定数・募集人数は先着30名とさせていただきます。

☆夏期学校校外指導
(レクリエーション)

開催日・平成26年8月20日(水)
場所・日光鬼怒川方面

「鬼怒川温泉と龍王峡
日光ゆば工場見学」

會費三千円

理事会だより



平成二十六年五月二十三日
午後2時半、西村記念ホール

司会の川上副会長より、本日の参加者29名の報告の後、小堤会長から「矢代裕三 元会長のご逝去」を悼み黙とうを捧げるよう提案し、皆で黙とうをした。続いて、矢代裕三副会長から裕三元会長についてお話があり、生前の皆様の厚情に感謝しています。と挨拶された。続いて会長が「消費税増税の大きなマイナス影響はないようですが、売り上げが変わらないとすれば実質は下がっているわけですから気を付けなければなりません。」と挨拶。議事に入った。

一、定時総会に付議すべき

平成25年度事業報告書案について

佐宗秀行専務理事より標記の事業報告書について説明があり、小堤会長の補足説明の後、一同に諮り、満場一致、原案通り決議承認された。

二、定時総会に付議すべき

平成25年度収支決算書案について

田中早映子事務局職員より標記の決算書について説明があり、一般社団法人移行後の表示変更などの補足説明があ

り、一同に諮り、満場一致、原案通り決議承認された。

三、定時総会に付議すべき

平成26年度事業計画案について

佐宗秀行専務理事より、標記の事業計画案について説明があり、小堤会長の補足説明の後、一同に諮り、満場一致、原案通り決議承認された。

四、定時総会に付議すべき

平成26年度収支予算案及びその他の事項について

田中早映子事務局職員より標記の収支予算案について以前に審議した暫定予算案とほぼ違いがないことの説明がされ、佐宗専務理事からはその他の議案についての補足説明があった、一同に諮り、満場一致、原案通り決議承認された。

五、夏期レクリエーションの日程、目的地希望について

川上副会長より、レクリエーションの日程は8月20日(水)、行き先は3か所候補があり、執行部に一任してもらいたいと提案。一同に諮り、了承された。

六、夏期学校校外講座について

矢代副会長より、本年は8月6日水曜日に、コロンブス松戸工場見学、靴磨き研修と言うことで募集を図りたい。また、HPには掲載済だが募集要

項は次回配布すると報告があった。

七、中堅社員研修会の結果報告について

矢代副会長より、4月16日に開催された中堅社員研修について、講師を派遣した㈱インソースからの結果報告書を披露した。

八、シューフィッター関係

佐宗専務理事より、今後の平成27年1月までのシューフィッター委託養成講座のスケジュールについて詳細な説明があった。一同、了解した。

九、その他

松戸常務理事より、修理表の改定原案ができたので、次回内容を検討してもらいたい。佐宗専務理事より、来月の総会について委任状等の取扱について要請があった。一同、それぞれ了解した。

お知らせ

矢代裕三氏お別れの会

平成二十六年五月一日に享年93歳で、ご逝去されました。当協会第八代会長 現顧問。株式会社銀座ヨシノヤ元会長の矢代裕三氏のお別れの会は、下記により執り行われます。

日時・平成26年7月10日(木)
午前11時30分より1時30分
会場・帝国ホテル
本館3階「富士の間」
裕三氏は1920年8月5日生まれ、早稲田大学商学部卒業、戦後統制組合に入社、

昭和25年(株)銀座ヨシノヤ入社、専務取締役、代表取締役会長を就任した。
当協会就任時には、若手の会「東青会」を発足させ、事業を任せながら次代の幹部を育成した。現在の正副会長をはじめとして幹部役員は東青会の出身者である。

東京都中小企業景況調査 {4月}

業況：全業種・全規模で反動減により悪化
見通し：全業種・全規模で改善、大きく反発

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	4月			今後3か月間 見通し (当月比)		
875	397	45.4%	悪い -100	良い 0	100	悪い -100	良い 0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服							
	2. 婦人・子供服							
	3. 靴・履物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	4月		今後3か月間 見通し (当月比)	
875	300	34.3%	悪い -100	良い 0 100	悪い -100	良い 0 100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					○
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					

景況についてのアンケート結果
(対象月…26年5月)

▶ 全体的な業況		
良い	7.6%	
悪い	46.2%	
変わらず	46.2%	
▶ 売上げ		
前月比		
増えた	23.0%	
減った	38.5%	
同じ	38.5%	
前年同月比		
増えた	15.3%	
減った	46.2%	
同じ	38.5%	
▶ 販売価格は前月比		
騰貴した	23.1%	
下落した	7.7%	
同じ	69.2%	
▶ 販売経費は前月比		
増えた	23.1%	
減った	7.7%	
同じ	69.2%	